

問1 大化の改新以降、日本が大陸の王朝にならって構築した「律令」という法体系において、その構成内容に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2017年 長野県公立入試 類似）

1. 刑罰に関するきまりである「律」と、政治を行ううえでのさまざまなきまりである「令」からなる。
2. 武士の領地争いを裁判する「律」と、天皇の権威を定める「令」からなる。
3. 仏教を保護するための「律」と、貴族の階級を定める「令」からなる。
4. 年貢の徴収方法を定める「律」と、対外貿易のルールを定める「令」からなる。

問2 『万葉集』が編纂された当時の社会背景や文化的な特徴について述べた文として、正しいものはどれか。（2020年 岡山公立入試 類似）

1. 平城京を中心とした国際色豊かな文化が栄え、多様な人々の思いが歌に表現された。
2. 国風文化が発達し、仮名文字が広く普及したことで、貴族女性による日記文学が全盛となった。
3. 遣唐使が廃止されたことにより、日本独自の生活習慣に合わせた文化が急激に発達した。
4. 浄土信仰が広まり、社会の不安定な情勢を反映した仏教色の強い文学が中心となった。

問3 奈良時代の平城京跡などからは、当時の様子を伝える多くの木簡（もっかん）が出土しています。これらの木簡には、地方から送られた「生蘇（乳製品）」などの品名や送り元の地名が記されており、荷札のような役割を果たしていたことが分かっています。このように、各地の特産物を中央政府へと納める律令制の租税を何といいますか。（2023年 京都公立入試 類似）

1. 租
2. 庸
3. 調
4. 雑徭

問4 奈良時代の政治の中心地であった平城京について、その造営の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。

（2021年 山口公立入試 類似）

1. 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。
2. 外敵の侵入を強く警戒し、都の周囲全体を巨大な石造りの城壁で囲んだ。
3. 仏教の政治介入を防ぐため、都の中には一切の寺院を建立しなかった。
4. 武士が政治の実権を握ったため、軍事拠点としての機能を最優先して設計された。

問5 奈良時代の文化において、国家の歴史を記した『古事記』や『日本書紀』と、それ以外の編纂物について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 『日本書紀』は、国家の歴史を漢文で記した歴史書である
2. 『古事記』は、地方の特産物や地名の由来をまとめた記録である
3. 『風土記』は、天皇の命令によって編纂された日本最古の歌集である
4. 『万葉集』は、聖武天皇が国ごとに作らせた仏教の解説書である

問6 奈良時代、律令国家としての体制が整う中で、『古事記』や『日本書紀』が編纂された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため
2. 地方の産物や地理、伝承などを記録して、中央政府が地方の実態を把握するため
3. 防人や貴族など、幅広い身分の人々が詠んだ和歌を収集し、文化を保存するため
4. 仏教による鎮護国家の思想を広め、社会の不安や疫病を鎮めるため

問7 古代日本において、「漢委奴国王」の金印を授かった目的や、後に「富本銭」などの貨幣を鑄造した背景にある共通の意図として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 自国内の統治の正当性を高めるとともに、中央集権的な国家体制を強化し、周辺諸国や民衆に対して権威を示すため。
2. 中国や朝鮮半島との貿易において、日本独自の通貨を国際的な決済手段として流通させ、経済圏を支配するため。
3. 渡来人による技術革新を抑制し、伝統的な狩猟採集社会を維持するための儀礼的な道具として活用するため。
4. 仏教の教えに基づき、金や銅などの金属資源を全て寺院の建立に充てることで、争いのない平和な社会を築くため。

問8 奈良時代に作られた「下総国葛飾郡（しもうさのくにかつしかぐん）の戸籍」のような当時の社会制度を知るための重要な公文書や、聖武天皇ゆかりの宝物が現代まで良好な状態で保存されてきた、東大寺にある施設はどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 正倉院
2. 法隆寺
3. 唐招提寺
4. 興福寺

答え合わせ・解説

問1	答え 1 刑罰に関するきまりである「律」と、政治を行ううえでさまざまなきまりである「令」からなる。	唐などの法制度を参考にして日本に導入されました。律は犯罪に対する処罰を規定する現在の刑法に相当し、令は政治の組織や運営、人々の生活ルール、役人の仕事の内容などを規定する現在の行政法などに近い役割を担っていました。この体系の整備により、日本は法に基づく国家運営（律令国家）へと移行しました。
問2	答え 1 平城京を中心とした国際色豊かな文化が栄え、多様な人々の思いが歌に表現された。	『万葉集』が成立した奈良時代は、平城京を中心に大陸の文化を取り入れた天平文化が栄えた時期です。この時代の文化は国際色豊かである一方で、万葉集には防人の歌のように当時の人々の素朴な感情や生活実態が反映されており、当時の社会のありようを多面的に伝える史料としての価値も持っています。国風文化や仮名文字の発達は平安時代のことです。
問3	答え 3 調	律令制のもとで成人男性に課せられた租税のうち、各地の特産物（繊維製品、水産物、加工品など）を中央政府へ納める義務を「調」と呼びます。平城京跡などから出土した木簡は、実際に全国各地から多様な産物が都へ届けられていたことを示す重要な歴史的証拠となっています。なお、田地の面積に応じて米を納めるものは「租」、都での労役の代わりに布を納めるものは「庸」です。
問4	答え 1 唐の国際的な文化の影響を強く受け、大規模な役所や寺院が整備された。	平城京が営まれた奈良時代は、遣唐使を通じて唐の進んだ政治制度や国際色豊かな文化が積極的に取り入れられた時期です。都には大極殿などの官庁施設のほか、東大寺をはじめとする大規模な寺院が建立され、律令国家の威信を示す場となりました。中国の都市とは異なり、都市全体を囲むような強固な城壁（郭城）は日本では発達しませんでした。
問5	答え 1 『日本書紀』は、国家の歴史を漢文で記した歴史書である	『日本書紀』は舎人親王らが中心となって編纂した、中国の歴史書に近い形式（正史）をとる漢文の歴史書です。『古事記』は神話や伝承をまとめたもの、地名の由来などを記したものは『風土記』、日本最古の歌集は『万葉集』であり、それぞれ役割が異なります。
問6	答え 1 日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの正当な由来を明らかにするため	律令制度によって国家の仕組みが整えられたこの時期、国内外に対して日本の成り立ちや、天皇が日本を統治する根拠を説明する必要が生じました。そのため、神話や伝承、過去の出来事をまとめた『古事記』や、中国の歴史書にならって編年体で記された『日本書紀』が作成されました。なお、地方の地理などを記したものは『風土記』、和歌を集めたものは『万葉集』です。
問7	答え 1 自国内の統治の正当性を高めるとともに、中央集権的な国家体制を強化し、周辺諸国や民衆に対して権威を示すため。	古代の王たちが中国の王朝から金印を授かったのは、中国の皇帝から王としての承認（冊封）を受けることで、国内の他の勢力に対して自分の支配の正当性を誇示する目的がありました。また、飛鳥・奈良時代に貨幣が鑄造された背景には、唐の制度に倣った律令国家を建設する過程で、国家の権威を示すとともに、官人の給与支払いや平城京造営の費用に充てるという政治的な目的がありました。
問8	答え 1 正倉院	東大寺の北西に位置するこの施設には、武器や楽器、調度品といった美術品だけでなく、当時の政治や社会の仕組みを裏付ける戸籍などの行政文書も数多く保管されてきました。これにより、奈良時代の律令制度の実態を現代に伝える極めて重要な歴史的役割を担っています。